トライやる・ウィーク奮闘記
～笑顔で「トライ」した5日間～

▲園児と手をつないで田んぼの中で泥んこ遊び（西脇こども園）

21年目を迎えたトライやる・ウィークは、市内の4中学に通う2年生が、地域のさまざまな事業所の協力を得て、普段の学校生活では経験できない多様な社会体験活動を行います。今年度は6月4日（月）から8日（金）までの5日間、生徒たちは110ヵ所の事業所にお世話になりました。生徒たちは初めての体験に緊張していましたが、指導ボランティアの皆さんの支援の下、元気いっぱいに奮闘しました。

心の教育として始まったこの取り組みは、子どもたちがさまざまな体験を通して達成感を感じ、自分の生き方を見つけることを目的としています。人との接し方や将来の進路など、中学生はいろいろな思いを抱いています。トライやる・ウィークでの活動は、職業を通じて地域の皆さんと触れ合うことで、社会の中での自らの役割を考えることができる貴重な機会です。子どもたちは働くことの厳しさや楽しさを学ぶことができました。

■問合せ　学校教育課（市役所内線520）

西脇のトライやるはひと味違う!!

トライやる・ワッペン

地域の皆さんに、自分たちがトライやる・ウィークで活動する中学生と認識していただくと同時に、活動中にみんなで同じものを身に着けることで一体感が生まれ、活動への意欲を生み出す狙いがあります。また、各中学校に応じて4つの色に分かれています。デザインには、一歩踏み出せないでいる申を酉が励ましており、申年と酉年の生徒たちが協力して「トライ」することを表現しています。

マイ弁当づくり

市では生徒たちへの食育推進を目的として、活動期間中に生徒が自分で栄養面を考えながら、お弁当を作ることを奨励しています。平成29年度は90％の生徒が期間中に1回以上自分でお弁当を作りました。体験した生徒からは、「バランスを考えてお弁当を作ることが大変だと思った」などの感想が寄せられています。

①フロント業務（官兵衛の湯）②壁に飾り付ける絵を制作（西脇こどもプラザ・へそっこランド）③機械を操作して郵便物を振り分ける（西脇郵便局）④ドライヤーで髪の乾燥をお手伝い（le-non hair）⑤楽器を持ってみんなで歌う（NPO法人虹の会工房）⑥商品を袋に詰める（ファッションセンターしまむら西脇店）⑦電動工具で車からタイヤを取り外す（西脇ラビット）⑧製品を検品（㈱大真空西脇工場）⑨お弁当のおかずを盛り付け（ええまち比也野里）⑩製品の縮みを検査（播州織工業協同組合）⑪商品の陳列作業（セブン-イレブン西脇和田店）

インタビューしました!!

仕事を経験して感じたことは

毎日忙しくしている大人のすごさを実感しました。（西脇東中学校・小谷優真さん）

仕事の大変さを経験した分、やりがいを感じることができました。（西脇東中学校・飛田和真さん）

仕事に対する心掛け

しっかりとあいさつをして、窓口に来た方に笑顔になってほしいです。（西脇南中学校・村井雄馬さん）

いろいろな障害のある方がいるので、その方ができることを理解し、必要な手助けをしてあげたいです。（黒田庄中学校・梅村陽菜さん）

職場の皆さんから学んだこと

接客やあいさつで、相手の目を見て話すことの大切さを感じました。（西脇南中学校・内藤百香さん）

優しい気遣いの心を学びました。私も親や周りの人への気遣いをしていきたいです。（西脇中学校・岡﨑愛結さん）